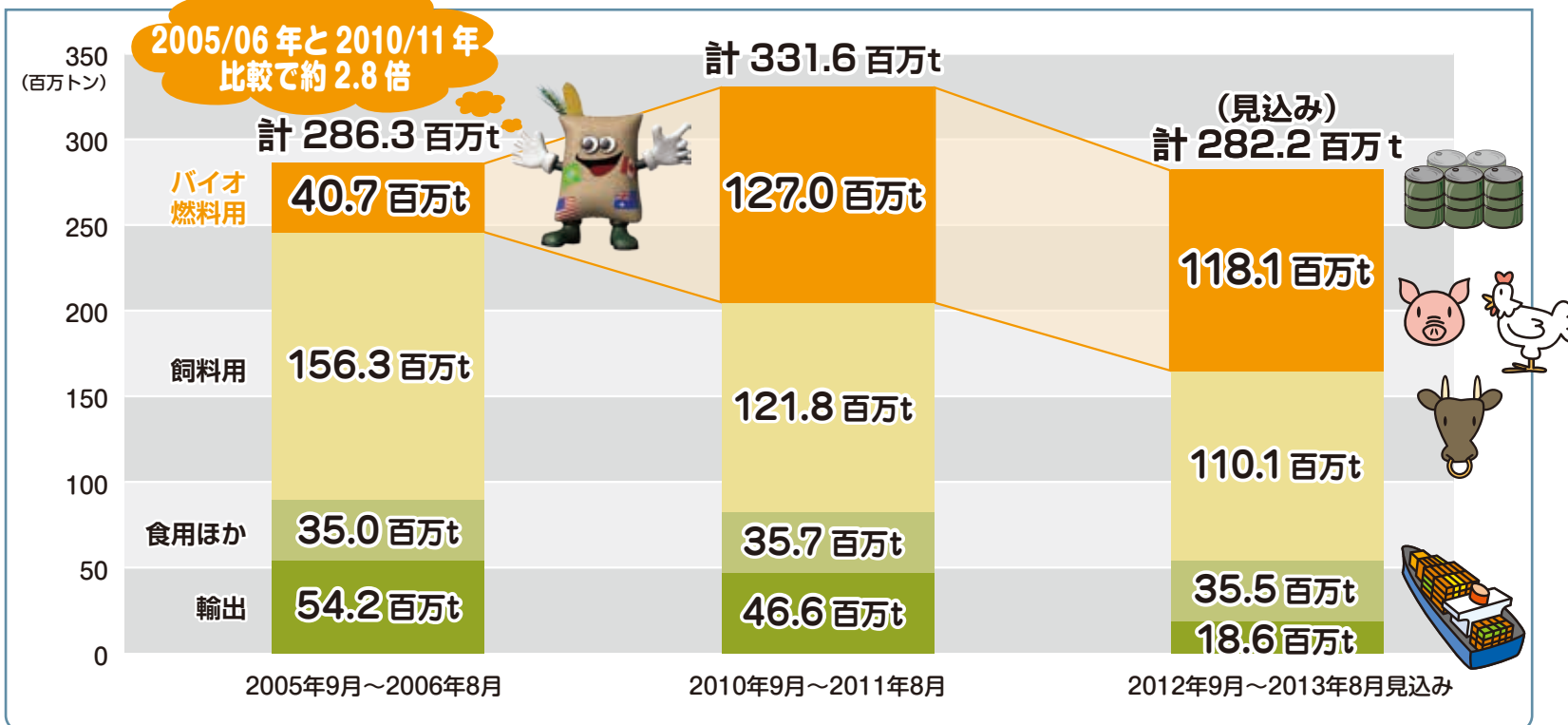


じゆよう すいい
米国における、とうもろこしの需要の推移



出典：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」
(December, 2008) (December, 2011) (December, 2013)

今、世界では環境問題や資源問題により、石油に代わる新しいエネルギーを必要とし、太陽光発電や風力発電、バイオマス燃料などの新エネルギーの開発が進められています。そのような中、米国では国の政策として、自動車燃料のガソリンを補う、とうもろこしからつくられる「バイオマスエタノール」という燃料が多く使われるようになり、燃料用のとうもろこしの需給量が大きく伸びてきました。

農場では、この燃料用のとうもろこし生産を増やすために、家畜用飼料のとうもろこし生産から切りかえるところが増えました。それにより、飼料用の生産量が減ってきたのです。そこで商社では、日本に必要な飼料用のとうもろこしが減ってしまわないように、いつでも飼料の供給ができるように、穀物の確保に取り組んでいます。実は、その輸入飼料で国内生産を伸ばしているのが畜産物です。

